

## 第1回 学校運営協議会 議事録

### 1 開会の言葉

### 2 校長挨拶

### 3 学校運営協議会委員任命

### 4 教育委員会挨拶（千葉県教育庁教育振興部生涯学習課）

多古高校はコミュニティ・スクールとして、地域とともに歩む学校づくりが推進されている。平成30年度、コミュニティ・スクールは全国で、高等学校383校、小・中・義務教育学校4796校が指定されている。千葉県の県立学校では6校が指定されており、中でも多古高校は最も早くから指定されており、8年目の先進校として本県でのモデルとなっている。学校運営協議会については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定されており、その役割は次の通りである。

(1) 対象学校の校長は、学校の運営に関して、教育課程の編成その他教育委員会規則で定める事項について基本的な方針を作成し、学校運営協議会の承認を受けなければならない。

(2) 学校運営委員会は、対象学校の運営に関する事項について、教育委員会または校長に対して意見を述べることができる。

(3) 学校運営委員会は、対象学校の職員の採用その他の任用に関して教育委員会規則で定める事項について、当該職員の任命権者に対して意見を述べることができる。

今年度、これまでの実績を踏まえ、多古高校がコミュニティ・スクールとしてさらなる発展をすることを期待する。

### 5 委員紹介（自己紹介）

### 6 日程等説明

### 7 会長・副会長の選出

### 8 議事

#### (1) 平成31年度学校運営の基本方針等について

##### ア 校長の説明

「学校教育目標」については、昨年度のものを踏襲する。「グランドデザイン2019」について、別紙のとおり作成した。御検討をお願いしたい。

##### イ 質疑応答

(ア) 「グランドデザイン2019」には、園芸科・生産流通科の目標が書かれているが、普通科の目標が書かれていない。普通科の目標も示したらいかがか。

(イ) 「グランドデザイン2019」内の「国際交流」に関して、具体的な取り組みを記載したらいかがか。

##### ウ 学校運営基本方針の承認

「学校教育目標」や「学校運営基本方針」については承認された。「グランドデザイン2019」については、記載内容について再検討し、変更があれば第2回学校運営協議会時に提示することになった。

## 9 各分科会協議

### 10 各分科会報告

#### (1) 進路・学習指導

3年生向けに8月実施予定の進路ガイダンスでは、面接指導を盛り込む予定である。その際、委員の方々にも面接練習に携わっていただけたらいかか。生徒が緊張感を持って取り組み、高い効果が期待できるのではないか。また、生徒に空港関係の就職について学習させるため、NAA（成田国際空港株式会社）の協力を得て、1・2年次から空港へ見学に行かせたり、講師を招きガイダンスを行ったりする機会を多くしたらどうか。

#### (2) 生徒指導

朝の挨拶運動を7年間継続してきた。昨年度は、学校運営協議会委員をはじめ1日平均8.4人という多くの方が参加してくださった。今年度からは、生徒会役員も自発的に加わってくれることになった。自主性や継続性が大切である。参加者は、自分たちの目で生徒たちの様子を観ることの重要性を感じ、やりがいをもって取り組んでおり、生徒たちから元気をもらっている。

#### (3) 小・中・高・地域連携

こども園・小・中学校との交流、地域との連携を推進しており、本校生徒との交流により、活気をもたらしている。今後さらに発展させていくために意見が出された。

ア 中高部活動合同での活動の機会を増やしたらいかか。地域の人たちから見られるし、生徒募集に好影響をもたらすはずである。

イ 吹奏楽部の地域に溶け込んだ活動を今後も継続して欲しい。

ウ 野球部の活動を町ぐるみで応援するプロジェクトとして、大会の応援用に、一般の方々が着用するTシャツを、統一感のあるスクールカラーで作成したらいかかか。

エ 例年11月に実施される本校文化祭「鶴陵祭」と多古中学校PTA主催のバザーの日が重なる。鶴陵祭の魅力を高めることはもちろんであるが、一般の方々の来場数を増やすため、両行事の相乗効果を促す工夫ができないか検討してみたいかか。

(ア) 各委員は、今後も問題意識を持って、さらに効果的な方策を具体的に提案していただきたい。

(イ) 多古中学校では今年度、95名の卒業生のうち25名が多古高校へ進学した。かなり高い割合である。しかし、新3年生の人数は80名となり、他の中学校を含めて近年の生徒減少は著しい現状がある。多古高校の生徒募集は深刻な課題であると推察する。

### 11 その他

#### (1) 委員報酬について

#### (2) 学校校運営協議会の開催予定について

### 12 教育委員会講評

コミュニティ・スクールでは、いろいろなことができる可能性を秘めている。多古高校

生のために何ができるか、何をしてあげたいか。分科会で活発な意見交換がなされていた。定員割れ解消には地道な努力が必要である。「多古町にある多古高校はこういう学校だ」というものを作り上げ、アピールしていくことが、解消に向かうための大きな要因になるのではないか。本学校運営協議会を通じて、これから一緒に考えさせていただきたい。

### 13 閉会の言葉

以 上